

～ 漁船漁業と魚類養殖のハイブリッド漁業 ～
泉 雅記さん（八幡浜市）

[所属・役職等]

大成水産有限会社 代表取締役 1968 年生まれ



☆経営概況☆

魚類（マダイ・スズキ）養殖業、いわし・あじ・さば機船船びき網漁業、小型機船底びき網漁業、さわら流し網漁業、水産物（シラス）加工品の製造・販売など

設立：昭和 59 年、資本金 500 万円、従業員数 17 名、水産物加工場、所有船舶 19 隻

☆ここがポイント☆

①漁船漁業と魚類養殖を組み合わせで安定化

県内の大学を卒業後、1 年間のサラリーマン生活を経て、平成 4 年に両親が興した会社に入りました。当初は漁船漁業と漁獲物のシラス加工が主業務でしたが、天然の資源に頼るだけでは収入が不安定かと思い、魚類養殖業をスタートさせました。経験がゼロであったため軌道に乗るまでに幾分苦労しましたが、今では養殖業と漁船漁業が互いに補完し合う形で安定した収入源となっています。また、漁業共済制度（損失補填）にも双方でフルに加入しているため不測の事態への備えも万全です。

②人の配置は効率と将来を考えて

養殖現場専門の従業員はいません。ちなみにパートさんもいません。従業員のうち半数以上が漁船漁業に従事していますが、禁漁期や時化などで手が空いた時には養殖現場に回ってもらいます。シラスの加工部門は機械化が進んでいて比較的時間の余裕があるため、基本的に養殖現場と兼務になっています。また、時には漁船にも乗り込んで経験を積んでもらいます。限られた労力の中で将来を見据えて柔軟に効率良く人を配置することをいつも心掛けています。

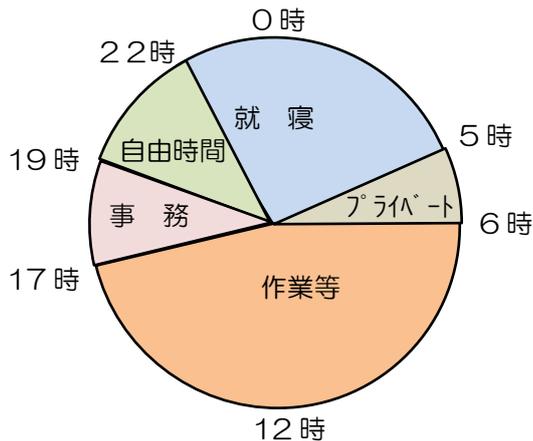


シラスを漁獲する漁船



箱詰め出荷中（マダイ）

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

生き物相手の仕事なので、なかなか長期の休みは取れませんね。取れても午後半日程度です。従業員には丸1日休んでもらいますが、その日の作業は基本的に私達家族で行っています。

趣味とまでは行きませんが、休日の午後から家族を連れて愛車を繰り出し、松山市や瀬戸内方面をゆったりとドライブするのが好きです。あと、飼っている3匹の猫を見ていると癒されます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	生産や加工（増加）、出荷に関する業務等（増加）、来客対応等					午後休み
【普段】	生産や加工、出荷に関する業務等、来客対応等（内容は特に変わらない）					午後休み



シラスの加工現場



愛車のダッジ（Dodge）

☆これからの夢や目指すもの☆

満足いく形で漁業を次世代に継承したい！

4人の子供（男1人、女3人）のうち、長男は結婚して近所に住んでおり、夫婦で家業を手伝います。父もまだまだ現役で、今日も親子三世代で頑張っています。また、嬉しいことに最近になって孫も誕生しました。私は経営者として、現在の漁業で稼げる状況を末永く維持しつつ、将来を担う人材も育成しつつ、満足のいく形で次の世代にバトンタッチしたいと思っています。

☆メッセージ☆

漁業だって儲かります！

手に職を付けて独立する以外に若い子が辞めていかないという事は当社の自慢です。養殖業だけでは固定給になる処ですが、漁船漁業分は歩合制導入であるため、年3回のボーナスに加えて頑張った分が毎月の給与に上乘せされます（加工部門含）。若い子はガッツリ稼げる現場に魅力を感じるのでしょうか。漁業だって儲かります。こんな環境で私たちと一緒に働いてみませんか？